



ブナの森 温身平

セラピーロードの環境整備を実施

5月23日、森林セラピーアテンドメントミーティング（伊藤良一会長）の会員やボランティアなど約15人が、6月のセラピーロードオープンに向けて、看板や案内標示、休憩用のテーブルやベンチの設置などの整備作業を行いました。

現在、温身平にて森林セラピーを体験する「リトリートツアー」や温身平のシンボルツリーを探す「マザーツリーを探そう！」の参加者を募集しています。また、8月～10月には予約不要の森林セラピーミニツアーも予定していますので、ぜひご参加ください！



▲看板や案内表示をセラピーロードに運搬、設置する



やまがた K A i G O のしごと出前講座

介護職の魅力を学ぶ

5月28日、小国高校で県主催のやまがた K A i G O のしごと出前講座が開催されました。これは、現役介護職員等が介護職の魅力を伝えることで、介護職に対して関心やポジティブなイメージを持ってもらうことを目的に実施されており、講座では白鷹町健康福祉課の新野真紀子さんが介護に携わってきた経験をお話くださいました。参加した生徒からは「介護職は大変な仕事だと思っていましたが、とてもやりがいのある仕事だと知ることができました」といった感想がありました。

今シーズンの安全を祈願

朝日連峰山開き

5月31日、町や小国警察署、森林管理署など関係者が出席し、朝日連峰での今シーズンの登山や山菜・キノコ採りなどの安全を祈願する山開き神事（大字五味沢財産管理委員会主催）が徳網地内の山の神の祠で執り行われました。

翌6月1日には記念登山が行われ、県内、他、関東・関西から集まった計28人の参加者が、地元のマタギや小国山岳会のかたがたの案内のもと、平岩山コースや祝瓶山コース、徳網山コースに分かれ、初夏の雄大な朝日連峰の登山を楽しみました。



▲山開き記念登山の様子

小国町消防演習・消防庁長官表彰

長年の消防活動が評価

6月2日、小国町消防演習が開催され、火災防ぎょ訓練や災害により倒木の下敷きになった人をチェーンソーや小型移動式クレーンを使用し救助する救助訓練などが行われました。消防にかかる各表彰の伝達では、第2分団長の伊藤明芳さん（岩井沢）と第4分団長伊藤佳久さん（増岡）が消防長官表彰を受章されました。

また、山口誠一団長から多様化していく災害に対応していくことの重要性や日頃から災害に備え、機器点検を行うなど万全な体制をとるよう訓示がありました。



第2分団長 伊藤明芳氏（永年勤続功労章・左から1人目）
第4分団長 伊藤佳久氏（永年勤続功労章・左から2人目）

小国高校 インターンシップ

「仕事」に対する理解を深める

6月4日～6日の期間で小国高校2年生のインターンシップが実施され、町内外の事業所20か所で職業体験を行いました。生徒たちは製造業や宿泊業、小売業、建設業といった自分の興味がある分野の仕事を体験し、「働く」ことに対して理解を深めました。

小国町立病院では、医療職への就職を希望する生徒など3人が、看護や介護の仕事について学ぶとともに、入院しているかたへのケアを体験しました。



SDGsについて考える

つむぐマルシェが開催されました

6月9日、つむぐマルシェ（おぐに移住者コミュニティつむぐ主催）がショッピングセンターアスモ西側駐車場で開催されました。

地域活性化とSDGsへの理解を深めることを目的に開催され、今年で4回目となりました。

SDGsをテーマとしたハンドメイドや雑貨の販売、ワークショップ体験、飲食の提供のほか、ステージパフォーマンスも披露され、多くのかたが会場を訪れ、楽しんでいました。



▲PEAKキッズダンスによるパフォーマンス